

# 建設現場におけるヒューマンエラーは12の原因

## ①無知、未経験

対策は安全訓練に尽きるが、適正配置や他の作業員に未経験者であることを周知する。

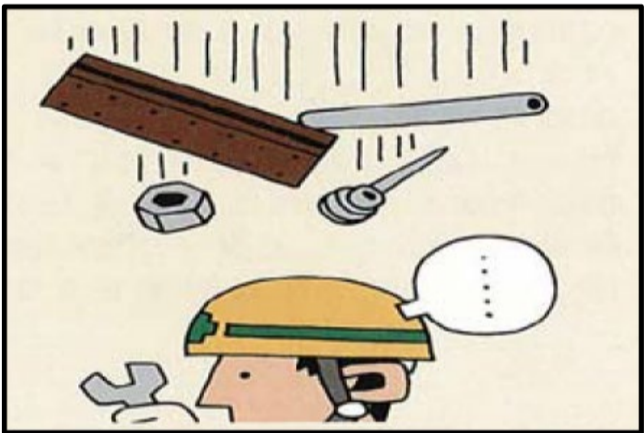


《防止対策》

- ①作業場所でのエラー予測させる
- ②自身の能力評価と指差呼称

## ③不注意

人間は一つの事に集中すると、他の事に注意散漫になり易い。逆に不注意にならないければ集中できない。



《防止対策》

- ①監視人の配置と呼掛け運動の徹底

## ⑤集団欠陥

工期最優先で“不安全行動止む無し”ムードの現場

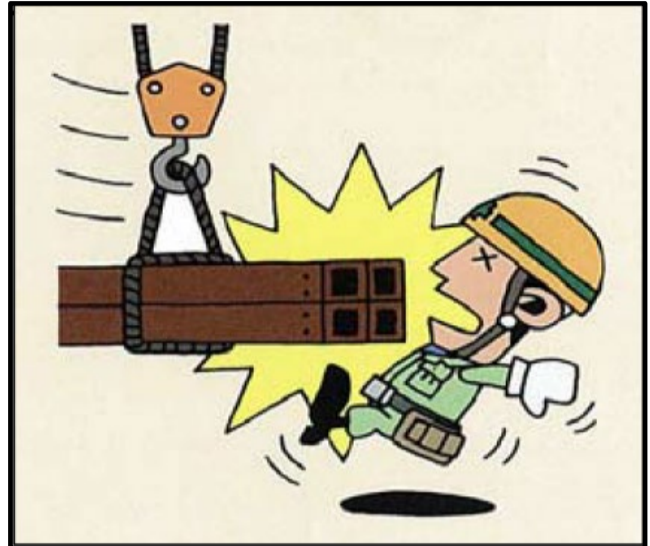


《防止対策》

- ①急いでも変わらない事を指導

## ②危険軽視、慣れ

危険軽視が最も多く発生している。



《防止対策》

- ①監視の強化と呼掛けの徹底

## ④連絡不足

指示伝達の不備で災害が発生する。

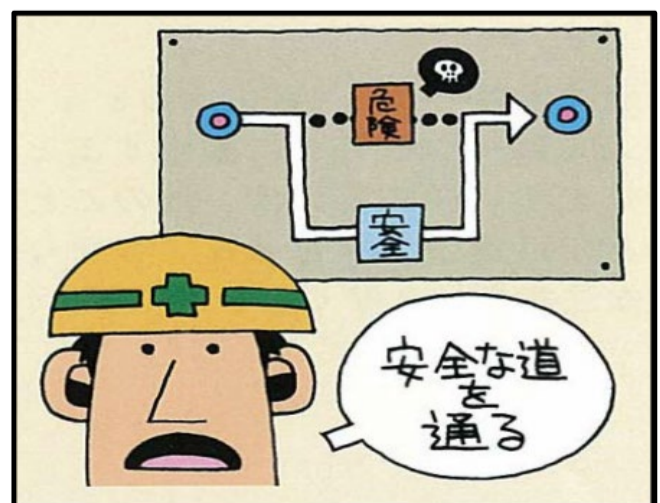


《防止対策》

- ①的確な連絡・伝達・確認の徹底

## ⑥近道省略行動本能

面倒な手順を省略し、効率的に物事を進める本能。



《防止対策》

- ①近道行動をさせない安全施設整備

## ⑦ 場面行動本能

瞬間的に注意が一点に集中すると周りを見ずに行動する本能。



《防止対策》

① 声掛け・指差確認を徹底させる

## ⑨ 錯覚

五感による感覚と、ど忘れ・思い込みなどの情報伝達の間違いがある。

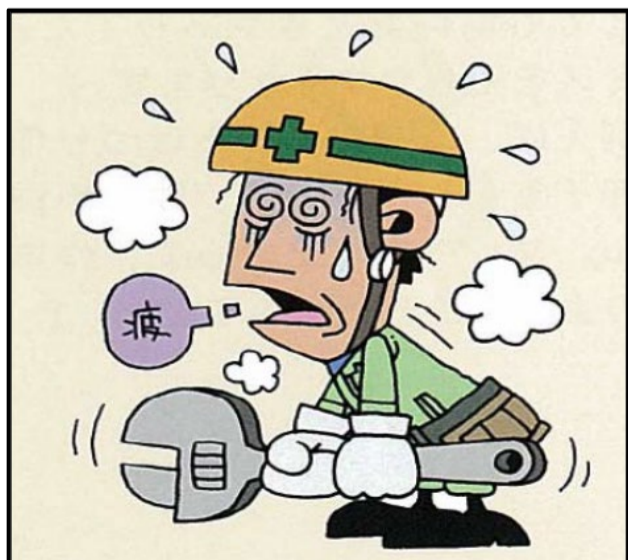


《防止対策》

① 現地確認、予行演習の実施

## ⑪ 疲労等

人間は疲れると自らの意志に反してミスを起こし易くなる。



《防止対策》

① 健康チェックと適正配置

## ⑧ パニック

とても驚いた時やあわてた時は、脳は正常な働きをしない。



《防止対策》

① 緊急時の対処方法を明示する

## ⑩ 中高年の機能低下

老化による足腰・視力・バランス感覚等の身体機能が低下する。



《防止対策》

① 身体的な負担低減策を行う。

## ⑫ 単調作業による意識低下

単調作業を続けると、意識が低下してミスを起こし易くなる。



《防止対策》

① 適度な休憩時間の管理

**災害の直接原因の背景にある潜在的原因を探り、それぞれの対策を考え、再発を防止する。**